

「ささえ」

2023年 7月発行 情報誌 第84号

発行 NPO福祉用具ネット事務局

住所: 福岡県田川市伊田 4395 (福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail npo-fukusiyougunet@sage.ocn.ne.jp

URL <http://npofukusiyougu.sakura.ne.jp>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 ヨシミ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目13-5

福祉用具はあなたの自立をさえます。

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします。

NPO福祉用具ネットの主な事業は、研修事業とものづくり支援です。

発売中の開発協力品

アイクオーク(株) 発売中
詳しくは、HP参照下さい!

前面吸気タイプ
SIGNAGE
サイネージ

除菌装置



揺動ベッド

fulful



(有) ラック発売中

洗髪シャワー

NPO福祉用具ネット開発品第1号

【製造元】(株)福祉SDグループ

【販売元】キヨタ(株)発売中



NPO福祉用具ネットは、抱え上げない介護技術を推進します。令和2年度・3年度福岡県ノーリフティングケア普及促進事業を受託!



これまでの開発協力品 (現在は製造中止)



アルファブラ
ソラクッション



尿吸引ロボ「ヒューマニー」



特定非営利活動法人

NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育てていきたい…」

緊急特報 2-1 (ユメル君とばあーちゃんのびっくり会話は、今号もお休み)

ノーリフティングケアは 介護維新 の幕開け！

NPO福祉用具ネット 副理事長 坂田 栄二

今、介護維新の入り口に立つ！

介護業界は、「介護維新」の入り口に立ち、幕を開けようとしている。

だが、幕は簡単には開かない。明治維新と同じように必ず抵抗勢力が蜂起してくる。現状を維持することは楽であるが、このままでは世界から取り残され、高齢者は置き去りにされてしまう。介護先進国は長年培った介護環境の中から新しい介護思想を打ち出し、新しい福祉用具を輩出している。

日本はいつまで介護鎖国を続けるのだろうか。

“これを打破したい” そんな思いもあって、わたしたちNPO福祉用具ネットは、20年前に設立され、先進的で著名な講師をお招きして、繰り返し研修を行い普及活動に努めてきた。

当時、NPO福祉用具ネットでは、これらの研修生に、抱上げずに介助できる欧州生まれの用具、例えばスライディングシート、スライディングボード、リフトなどを紹介するために八方手を尽くして調達した。



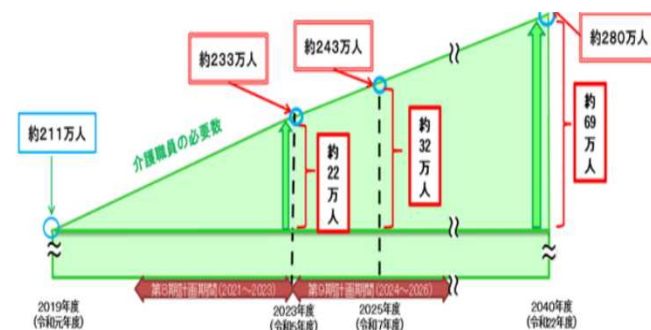
研修を受けた介護関係の方々は、新しい介護思想・介護技術に様に感嘆の声を上げ満足するが、どうしても自施設での導入・展開までには至らなかった。

魅力ない職場

やがて、要介護者が増えるにつれて、作業環境が一層厳しくなり、「抱え上げる介護」で体調を壊し、せっかくこの介護の世界に入った若者が魅力を見失って次々と転職し、リタイヤして行った。

こうして要介護者は増えるものの、介護者の増加は見込めない時代となった。

皆さんもご存じの通り、現在の介護業界のままで、2025年に約32万人、2040年に69万人の人材が不足すると厚労省が発表している。



(「第8期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について(令和3年7月9日)」別紙1より)

どげんかせんといかん！

介護職員不足が起きると「介護崩壊」、さらに「介護難民」の増加へと続き、この介護難民によって家庭崩壊が起きることもある。

何とかしなければならない。

そのため厚労省では、多様な人材の確保に向けて、介護分野への介護未経験者の参入を促進するため、より多くの方が介護を知る機会とするとともに、介護分野で働く際の不安を払拭できるよう、介護に関する入門的研修の実施に関する基本的な事項を定め、研修実施を推進している。

具体的には働き方改革の流れの中で職場環境の改善を行い、腰痛対策に着目して「ノーリフティングケア」という新しい介護技術を普及させ、人材を確保しようとしています。このノーリフティングケアはこれまでの常識を覆す考え方で構成され、この普及活動はまさに介護維新といえる。

この介護維新を実現するため、NPO福祉用具ネットは、福岡県からの委託事業を受けて、県内に新しい介護技術を普及させようと活動しています。

変わる介護技術

高齢者の特性は変わらないが、介護技術は外部からの情報で変わるし、自らが変えられる。

まずは、これまでの介護技術の変遷についてみてみましょう。

(1) 抱え上げる「人の手介護」

現在の介護の多くの現場では、入職後まず教えられるのが「人の手介護」ではなかろうか。福祉用具を準備して介護する必要はなく、介助時間も短くて“チャチャツ”と済む特性があり、端（はた）からは極めて効率的に見える。だからこれまで延々と受け継がれてきた伝統的ケアとなったのであろう。



上の写真は、ベッドから起き上がらせて端坐位をとる介助法で、座骨を軸に、上体の首を持ちながら下腿の膝に腕を回し、一気に「えいっ！」と回転させ端坐位をとらせるものである。

首は硬直し、腕は緊張し、おまけに目が回る。その上、臀部の皮膚が回転して皮膚剥離や褥瘡悪化を起こしてしまう。

欧州では、古くからリフトやボードなどを多用して介護者の身体リスクを抑えながら、要介護者には安楽なケアを与えることが出来る。

つまり「介護者のベストコンディションが要介護者へのベストケアを生む」という“品質を伴う生産性の向上”を実現しているのである。

では日本ではどうして抱え上げる「人の手介護」になったのであろうか。

調査を進めると、「儒教（儒学）」にたどり着くことが出来る。

儒教は宗教ではない。学生時代に習った道德概念もこの中に入るらしい。

この儒教の考え方の中に、「敬老思想」というものがある。端的に言うと年長者を敬い、親の面倒を見る事とある。

要介護者がどんな病気を患っていても、たとえ認知症であっても人であり、人はお互いに敬うものである。そして敬う証として暖かい人の手で介護することで信頼関係を築くことにつながるという思想が背景にあるようだ。

家庭で介護を担う者や、福祉施設などで働く介護職員は、介護を必要とする人を抱えたり、持ち上げたり、支えたりしなければならない。そのため介護者の身体への負担は大きく、わが身を犠牲にして介

護をすることが美德の様に讃えられても、腰痛を発症し職を去らなければならないことほど本人にとっても、また社会にとってもこれ程大きな損失はない。

何とかしなければならないとして推奨されたのがボディメカニクスである。

(2)ボディメカニクス

ボディメカニクスとは、人間の運動機能である骨・関節・筋肉等の相互関係の総称、あるいは力学的相互関係を活用した技術。（Wikipedia から引用）とのこと。

「人の手介護」のような介護負担を軽減させるには、余分な力を使わず無理のない姿勢で介護する方法が有効である。そのための原則は次の8つが挙げられている。

①支持基底面積を広くする。

介護者の足幅を前後左右に広くとる事で立位が安定する。

②重心の位置を低くする。

介護者が膝を曲げ、腰を落とす事で重心が低くなり、姿勢が安定する。

③重心の移動をスムーズにする。

対象を持ち上げるのではなく、水平に滑らせるように移動する事で負担が軽減する。また、垂直に向かい合ったり、移動する方向に足先を向ける。

④重心を近づける。

本人に接近する事で容易に介助できる。

介助者は、介助動作中の重心線が支持基底面を通る姿勢を維持しながら利用者に重心線を近づける。

⑤てこの原理を使う。

肘や膝を支点にし、てこの原理を使う。

⑥身体を小さくまとめる。

仰臥位姿勢の身体各部位の体重に対する割合は、およそ頭部 7%、胸・腹部 33%、臀部 44%、下肢部 16%である。

対象の両手、両足を組む事で摩擦が少なくなり、移動しやすくなる。

⑦大きな筋群を使う。

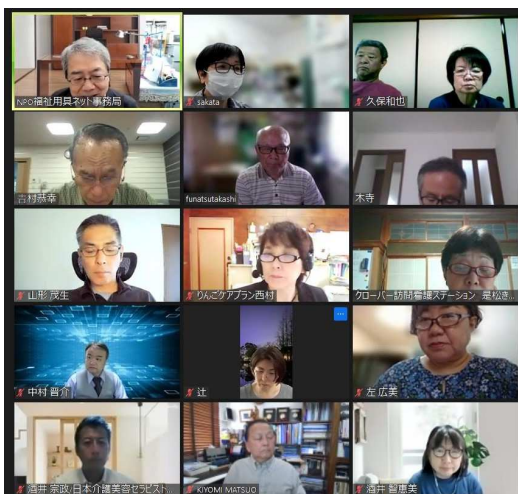
大きな筋群（大筋群）とは、大胸筋、広背筋、大腿四頭筋、腹直筋、大臀筋、脊柱起立筋のことをいう。

腕や足、指先だけの力で動作するより、大きな筋群を使用した方が力が大きく効率的である。

⑧身体をねじらない。

ボディメカニクスは、なかなか合理的な介助術でノーリフティングケアに取り込まれているが、介護者を保護し負担を減らすためのものであって、要介護者には負担が残ったままのように思えるのだが。（つづく）

NPO 福祉用具ネット通常総会を開催



事前に、理事会を5月13日開催。

5月21日 通常総会をオンラインで開催
出席者数 正会員総数 92 の内、72 名出席
(うち表決委任者 57 名、出席 15 名)

審議事項

議案 1 2022 年度事業及び決算報告並びに監査報告に関する件について審議し、すべてに承認された。

(事業報告と決算報告はホームページにて公開中)

議案 2 2023 年度活動計画案及び活動予算案について審議し、原案通りに可決された。

議案 3 事務局より福岡県ノーリフティングケア普及促進事業の取組経過について詳細の報告がされた。

令和5年度福岡県ノーリフティングケアの普及促進事業 スタート!

公募の結果、15 の新規取組施設が決定。今年度から 35 のモデル施設とともに活動開始!

令和5年度 新規取組施設《4期生》決定!

(いよいよ、6月28日からマネジメント研修がスタートします!)

1 筑豊 特別養護老人ホーム 筑穂桜の園	9 福岡 特別養護老人ホーム サンシャインプラザ
2 筑後 介護老人保健施設 クリーンパル・ゆう	10 福岡 介護老人保健施設 ひのき
3 筑後 特別養護老人ホーム 紅葉樹	11 福岡 介護老人保健施設 ケアセンターひまわり苑
4 筑後 特別養護老人ホーム 美さと	12 福岡 特別養護老人ホーム マナハウス
5 北九州 特別養護老人ホーム 杜の家	13 福岡 特定施設入居者生活介護 生の松原ハッピーガーデン
6 北九州 特別養護老人ホーム ユニット型 みやこの苑	14 福岡 特別養護老人ホーム 白熊園
7 北九州 グループホーム くもじ	15 福岡 地域密着型 特別養護老人ホーム 陽だまり
8 北九州 特別養護老人ホーム 垣生の里	

令和5年度福岡県ノーリフティングケア取組施設 地域別一覧 50施設

	筑豊地域	筑後地域	福岡地域	北九州地域
1	はくりょう園	ちくご 船小屋	初花	サンシャインプラザ
2	ほ乃ぼの園	天神会複合施設	次郎丸の里	ひのき
3	ひまわり園	八女の里	能古清和園	ケアセンター ひまわり苑
4	ことぶきの森	若久シニアビレッジ	つくも苑	マナハウス
5	くぬぎ苑	アルデンハイムヨコクラ	朝老園ひさみつ	生の松原
6	介護複合施設 ひばり	常照苑サンシャイン	宝珠の郷	ハッピーガーデン
7	本陣園	常照苑くすのき通り	フレンドビーチ ちはや	白熊園
8	明日香園	桜の丘	なの国	陽だまり
9	筑穂桜の園	クリーンパル・ゆう	三丁目の花や	ふじの木園
10		紅葉樹	仙寿苑-はまばう	杜の家
11		美さと	さくら老健センター	ユニット型 みやこの苑
12			ねむのき	くもじ
合計	9施設	11施設	19施設	11施設

早速、新規取組施設へ、研修テキスト、技術動画、関係資料を郵送。



令和5年度の事業は、合計 50 施設がノーリフティングケアの普及促進を目指して取り組むことになりました。

ノーリフティングケア普及促進のための第 2 ステップのスタートだと考えています。

5 月に開催した筑後地域のノーリフティングケアフェスでは、筑後地域老人福祉施設協議会の協力も得られて、大きなイベントを開催することができました。

また、介護等の教育関係者との連携も大切だと考えています。

介護施設の団体や介護等の専門教育の関係者により連携を図りながら、事業を進めたいと思います。

関係者の皆様、お力添えを宜しくお願い致します。

令和5年度 ～継続は力なり！～
福岡県ノーリフティングケア普及促進事業の概要

①
1期生 &
2期生

- ・アドバイザー施設として、リーダー的な役割を担う
- ・地域への普及に向けて、主体的に地域連絡協議会活動を推進
- ・新規取り組み希望施設への助言や施設見学の受け入れ
- ・講師見習2年目の実指導に挑戦 合計6日間
- ・3期生・4期生の技術研修の機会に見学学習し、さらに補修を行い技術認定試験に挑戦
- ・実践報告として、地域の活動の成果を報告する2月開催 → 福岡県ホームページに動画を公開

②
3期生
13施設

- ・2年目、メンター施設として、ノーリフティングケアの確かな定着を目指す
- その①マネジメント概論 マネジメントとは何か、PDCAの回し方 行動計画の立て方などを学ぶ 1日間
- その②実践と計画作成から学ぶ2年目の実践計画を実施 一度の計画立案とその進捗確認 8/23,1/18,12/13 3日間
- その③5日間の技術強化研修 5日間
- ・フォローアップ研修 報告会に向けた指導 1/9,1/10 各施設時間割
- ・地域連絡協議会活動に参加し、地域への普及活動に努める
- ・実践報告として地域連絡協議会にて報告する 2月開催予定 → 福岡県ホームページに動画を公開

③
4期生
15施設

- ・新規取組施設として、マネジメント研修4回及び基本技術研修2日間受講して、新たなノーリフティングケアの取組をスタートさせる。
- ・1月の3回目のフォローアップ研修 報告会に向けた指導 1/5,1/6に、各施設時間割
- ・地域連絡協議会に参加し、先輩施設のサポートを受けながら、地域の活動に取り組む
- ・実践報告 2月開催予定 → 福岡県ホームページにて動画を公開

地域連絡
協議会
活動

- ・ノーリフティングケアの普及促進に向けて、地域連絡協議会として活動する。リーダーはモデル施設1期生を中心とする。
- ・活動は、6回程度/年 (技術研修やマネジメント研修、事例検討、新規取り組み施設への助言・福祉機器紹介や取り組み紹介などの企画を各地域で主体的に計画立案、さらに各施設ごとに積極的な普及活動に努めること)
- ・4地域での合同企画も検討
- ・普及に向けた地域からの情報発信や地域ネットワークづくりを積極的に行う
- ・連携のための連絡網の確立 スラックの活用 の定着 ・毎回の活動記録の提出はリーダー施設が行う

マネジメント研修概論 6月28日スタート
対象は新規取組施設(4期生)と3期生。さらに、
1期生、2期生の希望施設が参加。



指導者の育成も本格的にスタートします!

マネジメント研修講師&技術指導講師を1期生及び2期生の中から育成しています。

昨年度の見習い研修からステップアップして、いよいよ実指導を体験します。

現在、各地域から一人ずつ、合計4名の候補者が学んでいます。

同時に技術指導者の育成も試験的に開始いたしました。

今年度は、3期生の技術研修に参加し、指導の見習いからスタート。今後は技術認定試験を目指したいと思います。現在、4つの地域から7名が学んでいます。

マネジメントも技術も職場で実践している強みを活かして、モデル施設の中から指導者を育成することで、地域でのノーリフティングケアの普及促進に向けて中心的な役割を担っていたと考えています。

そして、今、選ばれた皆さんは、その厳しい指導者の道に真剣に挑戦しています。

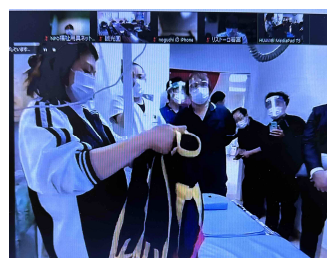
そのサポートして下さっているのは、講師の皆様と、技術認定試験合格者の仲間たちです。

[illegible]

合計 389 人が参加

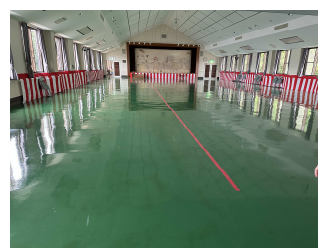
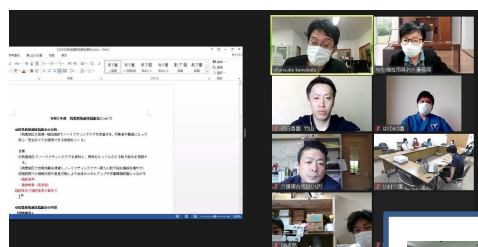


北九州地域連絡協議会 4月11日



誠光園施設見学
取り組み報告に
ついて、ハイブリ
ッドにて開催。
6月20日は、
みやこの苑訪問

筑豊地域連絡協議会 4月20日 / 6月14日



筑豊地域で開催するイベント会場の下見を兼ねて、ひまわり園
を訪問。200名も収容できる会場に驚きました。

福岡地域連絡協議会 4月25日 / 6月13日



4/28
臨時打合せ



福岡地域は、10月28日にノーリフ
ティングケアフォーラムを開催予定。
筑豊地域は11月にイベントを開催
予定です。これから、詳細の企画を行
います。
確定次第報告いたします。

3期生 技術力強化研修5日間コース(1回目5月26日・27日/2回目6月10日・11日開催)



撮影した動画は、編集後に関係者へ配信します。



これまでの学びは、以下の通り。

- ① 必要性と目的の理解
- ② 身体の使い方
- ③ 寝返り
- ④ 起き上がり
- ⑤ 立ち上がり
- ⑥ 座り直し

基本的な動きから一つひとつ確実に学んでいきます。

事務局だより

《令和5年4月から6月までの事務局のうごき》

◇令和5年4月

情報誌 83 号発送

新規取組施設公募開始

施設腰痛調査 6 月

地域連絡協議会活動開始

筑後地域連絡協議会フェス開催支援

年間研修計画の配布

実践報告会開催準備

4 月 3 日 福岡県庁事業契約

4 月 6 日 筑後地域 打ち合わせ 九州芸文館

4 月 10 日 ささえ発送

4 月 13 日 開発相談

4 月 18 日 北九州地域連絡協議会 誠光園
企業訪問

4 月 20 日 筑豊地域連絡協議会 オンライン

4 月 21 日 公募開始

4 月 25 日 福岡地域連絡協議会 オンライン

4 月 27 日 開発相談

4 月 28 日 開発相談 福岡地域打ち合わせ

◇令和5年5月

5 月 1 日 ホームページ更新

5 月 2 日 税理士と打ち合わせ

5 月 8 日 監査

5 月 10 日 フェス準備と技術体験会

5 月 11 日 筑後地域フェス

5 月 12 日 後片付けと事後処理

5 月 13 日 理事会

5 月 15 日～19 日 アンケート入力作業

5 月 17 日 研修会資料配布

5 月 19 日 取組施設候補締め切り

5 月 20 日 総会

5 月 22 日 県庁 開発相談 NPO センター書類提出

5 月 23 日 開発会議 総会議事録

5 月 24 日 開発相談

5 月 26 日・27 日 技術研修会

筑後地域展示会の手配

5 月 29 日 アンケート結果関係者に送付

5 月 30 日 技術研修報告

5 月 31 日 新規取組施設確定

◇令和5年6月

6 月 1 日 筑後地域連絡協議会
腰痛調査依頼

6 月 2 日 オリエンテーションファイル作成

6 月 3 日 動画編集

6 月 5 日 新規取組施設配布物準備

6 月 6 日 新規取組施設に資料送付
筑後地域の報告

6 月 7 日 打ち合わせ

6 月 8 日 筑豊地域連絡協議会 ひまわり園

6 月 9 日 福岡地域議案の打ち合わせ

6 月 10 日・11 日 技術研修

6 月 12 日 アンケート結果関係者に送付

6 月 13 日 福岡地域連絡協議会

6 月 14 日 筑豊地域連絡協議会議事録提出
第 2 回技術力強化研修報告書提出

6 月 14 日 講師打ち合わせ

6 月 15 日 4 期生オンラインテスト全施設

6 月 16 日 開発相談

6 月 19 日 福岡地域連絡協議会報告書提出

6 月 20 日 北九州地域連絡協議会

6 月 26 日 講師打ち合わせ

6 月 28 日 マネジメント研修 1 回目

6 月 29 日 開発会議

6 月 30 日 開発会議

情報誌 84 号発行準備

7月からの予定

情報誌 84 号発送

7 月 12 日 新規取組施設マネジメント研修

7 月 14 日 筑後地域連絡協議会

7 月 20 日・21 日 3 期生 技術力強化研修 3 回目

7 月 25 日 福岡地域連絡協議会

8 月 10 日 筑豊地域連絡協議会オンライン

8 月 17 日・18 日 4 期生技術研修 1 回目

8 月 23 日 3 期生 2 回目マネジメント研修

8 月 24 日・25 日 3 期生 技術力強化研修 4 回目

8 月 29 日 福岡地域連絡協議会 オンライン

9 月 13 日 4 期生 3 回目マネジメント研修

情報誌 85 号発行予定

10 月 12 日・13 日 4 期生技術研修 2 回目

10 月 18 日 3 期生 3 回目マネジメント研修

10 月 28 日 福岡地域フォーラム予定

11 月 8 日 筑豊地域フォーラム予定

2023年度

NP0 福祉用具ネット会員募集のご案内
新年度(2023年4月から)の会員更新手続きのお願いと新規会員様を募集いたします。
現会員の皆様には、引き続きご支援をお願いいたします。

個人会員

入会金 1,000 円

年会費 4,000 円

団体会員

入会金 2,000 円

年会費 30,000 円